アグアスだより

令和8年度11月号
令和8年11月3日（火）発行

令和8年度　前期学校評価　アンケート結果　【児童童生徒アンケート】

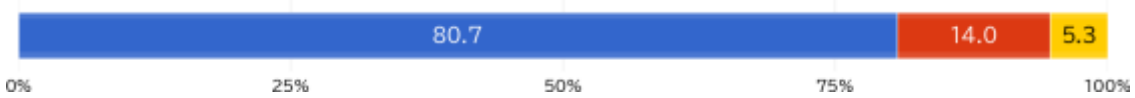
・ 質問項目　　46
・ 全児童生徒（57名）が回答
・ 各質問項目について以下の中から回答
　■ はい　■どちらかといえば、はい　■ どちらかといえば、いいえ　■ いいえ
・ 回答集計結果
　A 評価:「はい」「どちらかといえば、はい」との回答が90～100%・・・・・26項目
　B 評価:「はい」「どちらかといえば、はい」との回答が85～90%未満・・・・10項目
　C 評価:「はい」「どちらかといえば、はい」との回答が80～85%未満・・・・8項目
　D 評価:「はい」「どちらかといえば、はい」との回答が80%未満・・・・・・2項目



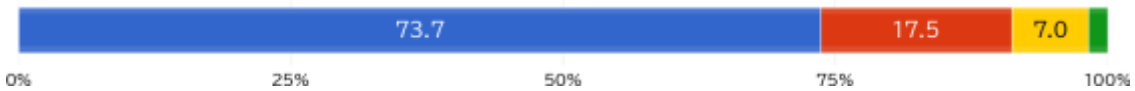
児童生徒アンケート考察等（代表的な回答をピックアップ）

○A あるいはB 評価の項目について

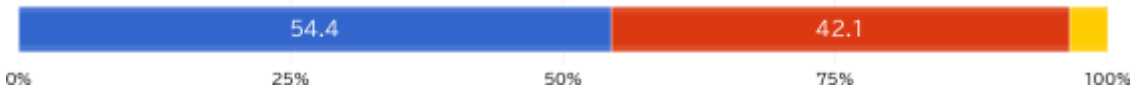
<教員との関係>：児童生徒への理解、支援、よさの承認に肯定的な評価が多い
「先生は、自分のよいところを認めてくれる。」



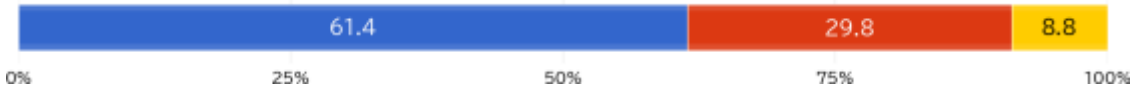
<学校生活・人間関係>：学校生活の楽しさ、友人関係、他者を助ける意識が高い
「友だち関係に満足している。」



<学習指導>：授業内容の理解や主体的に学習に取り組む姿勢が肯定的に評価されている
「授業中はしっかりと考え、自分から勉強に取り組む。」



<学校行事>：目標をもった取組や行事後の成長の実感が高い
「行事の後は、自分やみんなが成長したと感じる。」

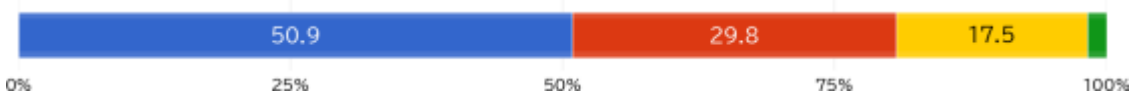


<教科・活動>：音楽、図工、体育、生活科、家庭科などで特に高い評価が見られる
「生活の授業の内容はよくわかる。」「生活の勉強は好き。」

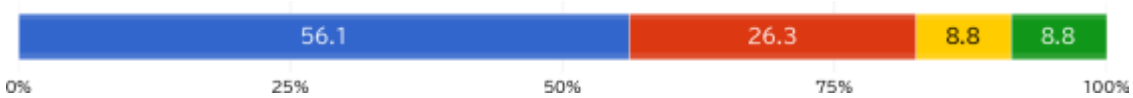


〇C 評価の項目について

「自分の考えをまとめ、自分から発表する。」



「自分にはよいところがある。」

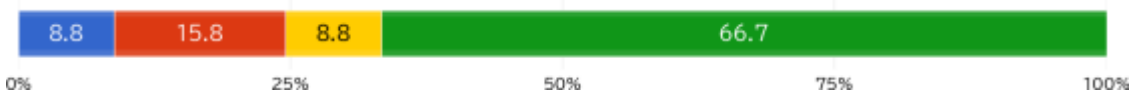


主に ①教科の学習に対する興味・関心、②自分の考えを表現する力、③自己肯定感や将来への展望 の 3 つに課題があると捉えられます。

今後、①②につきましては、教科の内容を理解するだけでなく、興味・関心を高め、どの教科においても自ら学びたいと思える授業を充実させとともに、安心して発言できる環境を整え、考えをまとめ、伝え合う活動を授業の中に位置付けてまいります。また、③につきましては、教員が認めている児童生徒のよさを、本人自身が自覚し、自信につなげられるような働きかけを継続していきたいと考えております。

〇D 評価の項目について

「4月から今まで、友だちから嫌なこと（からかい、仲間外れ、いじわるなど）をされたことがある。見たことがある。」



「4月から今まで、友だちから嫌なこと（からかい、仲間外れ、いじわるなど）をされたことがある」あるいは「見たことがある」において、22～23%の児童生徒が「はい」「どちらかといえば、はい」と回答しており、学校としては重く受け止めています。一人一人の気持ちに寄り添い、いじめや嫌がらせを許さない指導を徹底するとともに、こうした経験から相手の気持ちを考え、互いを支え合い、より良い人間関係を築く力を育てていきたいと考えております。

令和8年度 前期学校評価 アンケート結果 【保護者アンケート】

・質問項目　　15
・保護者回答　27名
・各質問項目について以下の中から回答
　■ あてはまる　　■ ややあてはまる　　■ あまりあてはまらない
　■ あてはまらない　　■ 分からない（R8 前期より加えました）
・回答集計結果

A 評価:「あてはまる」「ややあてはまる」との回答が90～100%・・・・13項目
B 評価:「あてはまる」「ややあてはまる」との回答が85～90%未満・・・・1項目
C 評価:「あてはまる」「ややあてはまる」との回答が80～85%未満・・・・1項目
D 評価:「あてはまる」「ややあてはまる」との回答が80%未満・・・・・ 0項目
※「わからない」との回答を除いたうえで割合を算出しています。



保護者アンケート考察等（代表的な回答をピックアップ）

○A 評価の項目について

「アグアスカリエンテス日本人学校の学校行事は、子どもたちの心身を成長させている。」



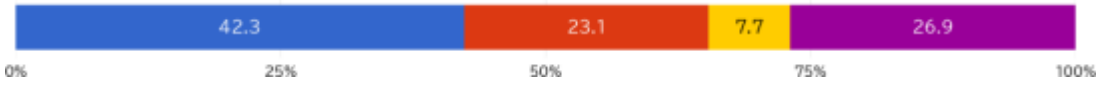
「アグアスカリエンテス日本人学校には伸び伸びとした雰囲気があり、子どもたちは生き生きとしている。」



15 項目中 13 項目が A 評価となり、そのうち 10 項目は 95%以上の肯定的な評価をいただきました。特に、子どもたちの思いやり、学校行事を通した成長、伸び伸びとした学校生活、教職員による子ども理解や支援などについて、高い評価をいただいています。これらは、本校の特色である異学年の交流等教育活動等の成果の一つと考えております。

○B 評価の項目について

「アグアスカリエンテス日本人学校は、将来の進路について適切な指導を行っている。」



進路指導は、進学先を決めるためだけではなく、キャリア教育の一つとして捉えております。体験学習や実習、日々の学習、学校行事、異学年交流など、さまざまな教育活動を通して子どもたちが自分のよさや可能性に気付き、社会とのつながりを理解し、将来の生き方について考える力を育てるよう今後も取り組んでまいります。

○C 評価の項目について

「アグアスカリエンテス日本人学校の先生方は、子どもたちが楽しく学べるように授業を工夫している。」



子どもたちが楽しく、意欲的に学べる授業づくりについて、改善の余地があると考えております。授業のねらいを明確にし、子どもたちが考えを深めたり、友達と話し合ったり、自分の考えを発表したりする機会の充実等の授業改善の必要性を感じております。また、授業参観や保護者の皆様の意見を参考にしながら、授業改善の取組を学校全体で進めてまいります。

(校長　平出 善男)

十一月予定

3日（火）全校朝会・PTA図書貸出
4日（水）後期児童生徒総会（～5日）
後期委員会③
5日（木）カレーの会
6日（金）中2現地高校見学
8日（日）第2回英検2次試験
9日（月）JAL航空教室
講師：ダラス空港所 整備長
北脇 俊次 氏
ダラス空港所 地上旅客サービス
杉中 志穂 氏



10日（火）NISSAN工場見学（小5・中1）
PTA図書貸出
16日（月）革命記念日（祝MX）
17日（火）PTA図書貸出
18日（水）後期委員会④
23日（月）中学部後期中間テスト（～24日）
模擬面接（中3・希望者）
24日（火）PTA図書貸出
25日（水）後期クラブ③
26日（木）保健集会



学習発表会・学習展示について

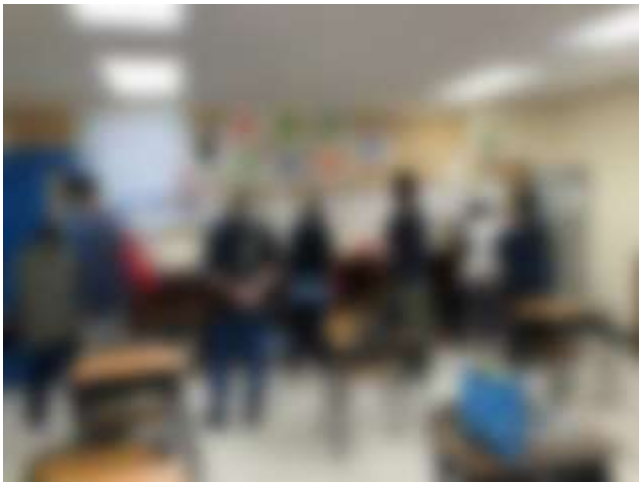
先日の学習発表会・学習展示には、本校保護者の皆様、御来賓の皆様、ならびにフランセス校の児童生徒や保護者の皆様など、たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。

学習発表や学習展示を御覧になった皆様から、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。担任や係担当から子どもたちに伝えたところ、大変喜んでおりました。皆様からの温かいお言葉は、子どもたちの自信となり、新たな挑戦や目標に向かう意欲につながっていくことと思います。

これから冬休み前までは、日々の学習にじっくりと取り組む時期となります。中学三年生は受験に向けた学習を進め、中学二年生は来年のこの時期を見据え、進路懇談を行います。また、年明けのマラソン大会に向けて、体力つくりにも並行して取り組んでまいります。

子どもたちがそれぞれの目標に向かって存分に力を発揮できるよう、今後とも御支援のほど、よろしくお願いいたします。





児童生徒総会について

本校の児童生徒会は小学部4年生以上の全員が、代表委員会、図書委員会、放送委員会、保健体育・環境委員会のいずれかに所属し、学校生活をよりよくすることを目的に活動しています。9 月 23日（水）をもって前期の活動が終了し、秋休みを挟んで10月5日（月）より後期の活動が始まりました。前期委員会で出された成果や課題を引き継ぎ、また新たな取組を展開しながら、よりよい学校づくりを目指していきます。

委員会活動は、自分たちの生活環境をよりよくしていくためにはどうすればよいのかということを一人一人が考え、実践する力を身に付けていくための自治的な活動です。上級生がけん引役となって、委員会活動を支え、また、その姿を見て下級生が育っていきます。これも小学部と中学部が一緒に生活する本校ならではのよさだと考えます。

また、児童生徒総会は各委員会の活動方針を全校児童生徒に示す場として、学期ごとに実施しています。本校では、児童生徒総会を通じて、自分たちの学校生活を充実させる態度を培い、一人一人がアグアスカリエンテス日本人学校の児童生徒会の一員であるという自覚を持たせることを大切にしています。

後期の児童生徒総会は、11月4日(水)と11月5日(木)の朝活動の時間に行い、前半は代表委員会・図書委員会、後半は放送委員会・保健体育環境委員会が、それぞれの活動内容を紹介したり、各クラスから出された意見に回答をしたりします。各学級から出された要望を少しでも多く実現しようと、各委員会は活動計画を工夫し、児童生徒総会で発表するために準備を重ねています。

児童生徒は、さらに活気のあるアグアスカリエンテス日本人学校を目指して、委員会活動に一丸となって取り組んでいます。私たち教職員も、児童生徒の思いに寄り添って、支えていきます。　　（児童生徒会担当　　鶴谷 剛士）



本校には、事務職員が工夫を凝らした季節の飾りが毎月登場します。伝統や季節を大切にする心は日本もメキシコも同じなのだと感じます。御来校された皆様も、笑顔で眺めていらっしゃいました。